

視点

療養福祉士の創設を

次期介護保険改正に向け、4月に「2040年に向けたサービス提供体制等のあり方に関する中間とりまとめ」が厚労省の検討会から提出された。しかし、肝心の介護人材確保策にパンチがない。処遇改善、職場環境改善、雇用管理の適正化など従来型の対策の羅列で、肝心の介護職の魅力向上、キャリアアップの具体策がない。そもそも介護福祉士といっても名称独占の資格である。その業務は、食事、入浴、排せつなどの身体介助と調理、洗濯、掃除などの生活援助なので、資格はなくても

誰にでもできる。だから業務の専門性とか、キャリアアップとか言っても言葉が踊っているだけで、魅力が出るわけではない。報告書でも、2040年に向けて85歳以上の高齢者が増加する。だからこれまで以上に、介護と医療との連携、重度化予防、認知症ケアが必要だと言っている。だったら、このニーズの変化に対応して、介護の中核を担う介護福祉士も資格の革新を図るべきだろう。医療との連携のためには、介護福祉士も基礎的な看護はできるよ

うにする。重度化予防のために基礎的リハビリはできるようにする。また、認知症ケアでは精神保健の基礎はできるようにするといったようなことだ。つまり、資格制度として、今の介護福祉士は高卒2年の養成課程だが、別途、介護に加えて看護、リハビリ、精神保健の基礎も学ぶ高卒3年の療養福祉士を創設してはどうか。療養福祉士は医療行為を行うので、当然、業務独占資格になる。このくらいのことをしないと、介護人材確保はおぼつかないのではないか。

社会保険旬報

目次

No.2964 2025年5月21日

視点

療養福祉士の創設を 3

座標

国立大学病院6割が赤字に
精神科診療所の機能を調査 4
症候群サーベイランス週報を初報告
委託率トップは寝具類洗濯 5

動向

医療機関の経営状況のデータを
厚労省が提示する
一令和8年度改定に向けた中医協の議論
..... 6

レコーダ

日本医学会連合シンポジウム
医師の偏在是正と研究の両立を
インセンティブで意見集約も? 10
ヘルスケア産業PF
医薬品・医療機器の適正な評価
多様な価値を含めどう考えるか 18

全世代型社会保障への道筋⑰

制度の複雑さが理解を妨げる
山崎泰彦 22

潮流

高額療養費制度の専門委員会を設置 23
自民党厚労部会が年金改正を法案審査 .. 26
介護関係16団体が集会を開催 29

随想—視診・聴診

ふと気が付けば高齢
高山哲夫 30

BOOK REVIEW

『日本の国民皆保険』 31

資料

医療機関を取り巻く状況について
2026年度診療報酬改定に向けた全体の
議論 39

経済スコープ 41

編集室・ワードカプセル 42